

## 令和5年度へき地学校教育支援事業 助成校一覧

NO	学 校 名	研 究 主 題
1	豊田市立御蔵小学校	「自ら学び、仲間とともに深く考え、未来に向かう御蔵っ子」 体育や地域学習において、スポーツを通して、いろいろな個性をもった人との関わりを深めることができる。保健イラストブックを活用して子どもに提示する資料を工夫することで理解を促しより深く考えることができるようにする。
2	豊田市立道慈小学校	「ふるさと小原の良さを学び、未来につなぐ子どもの育成」 一道慈ふるさと学習を通して－ 小原の伝統工芸である和紙作品づくりを通して和紙の良さを感じ取り、その取組や小原和紙について調べたことを交流校・衣丘小学校に伝える。小原和紙に取り組む活動を通して、地域への愛着を深める。
3	豊田市立明和小学校	「体力ジャンプアップ」 －総合的な体力が必要とされる跳び箱運動の取組を通して－ 体力テストの結果から、筋力や柔軟性はよいが、持久力や敏捷性、巧緻性を伸ばす必要があることが分かった。そこで、総合的な体力が必要とされる跳び箱運動を導入し、敏捷性や巧緻性、平衡性などの調整力や持久力の伸長を目指したいと考えた。
4	豊田市立敷島小学校	「少人数における有効な学級経営・学習指導の方法」 －外部講師を招聘し、担任の指導力向上を図る－ 年々、教員の若年化が進んでいることから、学校全体の学級経営・学習指導力の向上が喫緊の課題となっている。そこで、外部講師を招き、力量向上を図りたい。
5	設楽町立田峯小学校	「じょうぶで なかよく がんばる子」 －たくましい峯っ子を未来につなぐ－ 令和5年度末に閉校し、町内の別の小学校と統合。最後の1年間を、思い出に残る充実したものにし、将来に「生きる力」を育みたい。
6	設楽町立清嶺小学校	「正しい姿勢を自然に保つ子どもの育成」 授業を受けているときの姿勢がよくないことがある。毎日、正しい姿勢を保つことを意識するとともに、そのために必要な筋力を鍛えることで姿勢が改善されると考える。
7	田原市立若戸小学校	「ふるさと小山を里山に」 校舎北側にある「小山」で学習したり遊んだり有効に利用している。自然豊かな「小山」環境を維持するために、地域をあげて整備を行っている。その活動の支援としての整備に力を注ぎたい。
8	田原市立伊良湖岬小学校	「ひと・こと・もの」とのかかわりを通して、ふるさとに愛着と誇りをもてる子どもの育成」 阿南町4小学校の交流を通して、海と山の地域の違いを実感することにより、ふるさとの良さに気づき、愛着を深める学習を進める。
9	岡崎市立下山小学校	「全員で協力してミッションクリア!!をめざせ」 in ジブリパーク 全校17名の子どもが、4つの異学年縦割りチームに分かれ、友達と協力して課題をクリアすることで、仲間意識を高めたり、普段の生活ではできない校外の学習を通して公共のマナーを学んだりできることを期待している。
10	南知多町立篠島中学校	ふるさとに夢やほこりをもって、未来の創り手となる島っ子の育成 －知多半島最南端の中学校から篠島の魅力・活力を発信－ 篠島の歴史や現状を調べ篠島の将来像と自分の将来を関わらせて考え、その実現に向け実践する力や学習したことを地域や生活の中で生かし、よりよい地域づくり・島づくりに参画・貢献する態度を育てたい。